

イベントのご案内

8/18(土)

夏休み企画

朝10時～
先着 10名様



★宿題工作にもぴったり！電器屋さんと一緒に作る★

麻ひも ランプシェード



僕の家にも
同じランプを手作り
して使ってます！



多田

要予約！
詳しくは別紙
「ちょっこり通信」
をご覧ください。

おひとり
1,000円

見積無料

相談無料

今回は新聞折込での
ご案内になります。

8/18-19 (土日)

朝10時～夕方4時

夏、恒例のリフォーム相談会

困ったなおった相談会

●(株)さくら店舗 ●

9/8(土)

朝10時～

2名様1組
先着 5組様



★さくら通信「川ちゃん日記」でお馴染み★

簡単！魚のさばき方を伝授！



慣れた手付きで包丁を握る川口と一緒に
新鮮お魚を調理して美味しいお刺身いただきます！



おひとり
1,000円

要予約！
詳しくは別紙
「ちょっこり通信」
をご覧ください。

9/25(火)

朝10時～夕方4時

第5回 ご自宅訪問もできます

聞こえの相談会

さくら店舗にて

早口だと聞きづらい・・・
などちょっと気になったら
まずはお耳の健康診断！



要予約！
詳しくは別紙
ちらしをご覧ください。

はじめました

涼み処



交野市の取り組みで始まった「涼み処」。
さくらでは今年も延長して提供しています。
暑いな、しんどいな...と思ったら、辛くなる
前に遠慮なさらず、お気軽に休んでいって
ください。土日も開けています。水曜定休

■お知らせ■

道路側のお店の看板
新しくしました！



不動産部のシンプルなPR
通られた時、見てください。

■編集後記■
地震、豪雨のあと、今夏の猛暑も連日ニユ
ースになっていきますが、みなさま、お元氣
で過ごしていきましょう？
虫も飛んでないほどの暑さってほんまに異
常ですよ。先日観たテレビで、日傘、女
性だけでなく男性もさしての方が増える
そうです。35度の炎天下で頭のとっぺん
の温度を測る実験をやりました。日傘を
させば36度で、日傘なしの頭では何と！
50度でした！そんなに違うのです。
日傘は必需品かもです。備えは猛暑にも！
(広報/後藤)

●お盆休み●8/11(土)～15(水)●

誠に勝手ながら、上記のとおりお休みさせていただきます。
8/16(木)朝10時より平常通り営業いたします。



株式会社 さくら

でんき リフォーム

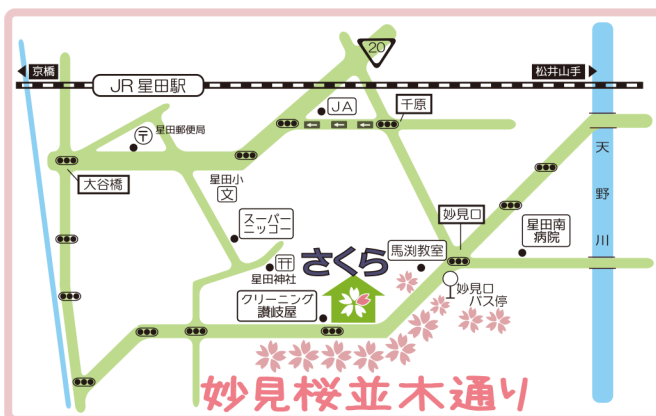
新築 不動産

〒576-0016 大阪府交野市星田 2丁目 25-1

TEL 072-891-4501 FAX 072-892-1671

さくらリフォーム

検索



え？震源地、ここ?!

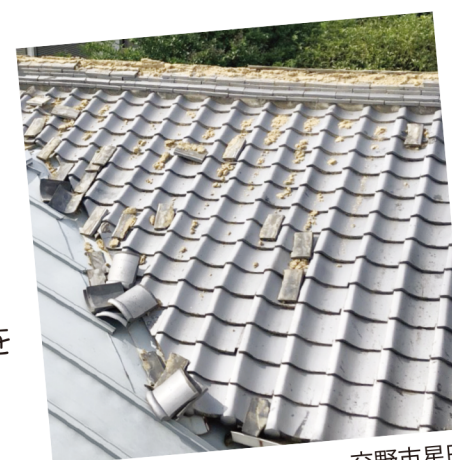


交野市神宮寺

2018.6.18
am7:58



交野市妙見坂



交野市星田

こんにちは！

いつもご覧いただき、ありが
うございます。記録更新連日の
酷い暑さですが、夏バテ大丈夫
でしょうか？そしてエアコンも
活躍しているでしょうか？
熱中症対策は夜でも気を付けて
ください。

さて、今回のさくら通信は激震走ったこの1ヶ月半のできごと、
何を見たのか、何を感じたのか、そして何をお伝えすべきか、を
ありのまま特集にしてみました。
あの日、「震源地、高槻で?!...断層って!」と目を疑った方も
多かったのではないのでしょうか？
さくらも創業以来の初めての経験でした。

(広報 後藤)



2018年
8月号
Vol. 60

通信

このたびの「大阪北部地震」その
直後の「西日本豪雨災害」により
被害をうけられた方々へ、謹んで
お見舞申しあげます。
一日も早い復旧と皆さまのご健康
を心よりお祈り申し上げます。

(株)さくら 一同

店舗のトイレ前に
熱帯魚の大きな水槽があ
って、朝礼はいつもこの横で
やっています。お魚さん達は
飛び出さずに避難してて
みんな元気でした！



さくらでは毎朝8時から男性全員が開店前の店舗に集合し朝礼を行います。
この日もいつものように、それぞれ自分のデスクから移動しようとしていた
ちょうどその時！

突然 ゴ、ゴン！ドーン！ その後かなり強い横揺れ！

水槽の水が揺さぶられてチャップンチャップンと溢れ出した！もっとひどくなるのか？
無垢板の床がみるみるうちにビショビショに！棚からカタログや資料が飛び出した！
食器棚の扉や引出しがバンバンと開き、食器がガチャガチャ言っている！
頭上から時計やパネルが落ちてきた！

命の危険さえ感じた！崩れるかも！

幸い、みんな怪我なく社屋の被害も
なく、まずは個人の生活、家族の安
全を確認。女性陣は出勤前でしたが
保育園や学校が緊急休校になって、
出勤不可能の者もありました。
現場の担当者はみんな、お客さん
のお宅を心配していました。
大丈夫だろうか？

早速お客さん宅へお電話し無事を
確認。
震源地近くに住む工務部スタッフの
橋本は、急遽自宅へ戻ると、家の内
壁の一部が深くひび割れしていて、
部屋中、食器だけでなくあらゆる物
が散乱し、足の踏み場もなかったよ
うでした。

7月27日現在の大阪府
防災ネットの発表では住家被害
全壊12棟、半壊273棟一部破損38,994棟
そのうち交野市では半壊、一部破損とも
700棟を超え、枚方市では約4000棟が
り災証明を出されています。

事務所、店舗、倉庫の中が片付いた
9時頃、女性陣が遅れて集まり出
しました。もはや電話がひっきりなし
に鳴り響き、お店のシャッター前
には「瓦が落ちてきて・・・」とお客さん
が続々相談にいられていました。
緊急事態となり、平常10時開店のと
ころ早目にオープンすることに！

おうち復旧工事中！

交野市神宮寺 J様
屋根外壁復旧工事



■地震直後の現場調査



■屋根瓦の運び出しが始まりました！



熱中症を心配してお客さまが用意
してくださった屋内の涼み処！
お気遣い本当に感謝します！



■軽いスレート瓦に葺替え、工事完了！

ご注意ください！

「今、関西行ったら儲かるで～」という
勢いで他府県からたくさんの業者が
乗り込んで来ています。残念ながら
中には技術力も無いのに足元みて
一回こっきりやから、わからんやろ～
という考えの悪徳業者も混じって
いますので、ご注意ください！

■高槻の同業者仲間からの情報で、実際に
被害に遭った本当の話です。屋根職人さん
が手一杯であちこち応急処置を断られたお
宅を回って「私は熊本から助けに来ていて
慣れている」などと名刺まで用意して安心
させ、通常の数倍もの代金を支払わされた！
という被害、何件もあったようです。本当に
胸が痛みますし、同業者として情けないと
思います。
こんなお話を聞けば聞くほど「地域で信頼
おける店」の存在価値を問われています。
今こそ襟を正し、少しでも地域のお役に立
てるよう精進してまいります！

耐震強度を
上げるには

- 一つ、 屋根は軽くすべし
- 一つ、 強い壁にすべし
- 一つ、 ねじれをなくすべし

備えあれば憂いなし！ そして備えは続けてこそ！



地震なんて、また来て欲しくないけど
こうしておけば良かったなという事、
ありますよね。

お客さんからお聞きした声を共有させていただきます。

懐中電灯は
やっぱりLED！
電池が長持ちした。

余震で傷が広がっていたのを
何日もたってからわかった。

キッチンの吊戸棚がちゃんとロックされてた！
落下物なかったのは良かったが、どうやったら
解除できるのか、わからなかった。

近隣の人に「お宅の瓦、
崩れてるよ」って教えてもらった！
ご近所付き合いは大事と思った。

まさか玄関の扉がゆがんで
開けられなくなるなんて！
鍵もかからなくなった！

食器棚の扉は引き戸のタイプ
だと、揺れて開いたりしなかった。

トイレタンクの水が地震の揺れで
あふれて床が水浸しになった！

高い所に落ちやすい割れ物や
飾り物を置かなくなった。

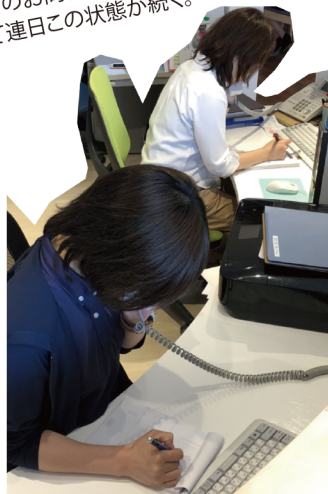
部屋の中に雨漏りしてから初めて
どこかに傷があることがわかった！
外から見ても異常がないように見えた。

うちの地震保険ってこんなやつだったん？
うちの火災保険って屋根、壁はどうなんやろ？
初めて契約内容を確認した！

ガス給湯器の安全装置、
復帰方法がわからなかった。

修理費用によってはここを
手放そうかとか考えてしまった。

メモを取るのが精いっぱい！
この日のお問合せは約100件。
そして連日この状態が続く。



みんな必死でした！天気予報ではこ
れから雨が！一軒でも多くお役にた
ちたい！…と。
でも調査時間や応急対応の時間が
計れず、お約束時間を守れなかつた
り、折返しのご連絡が遅れて再度お
電話いただいたり、多くのお客さま
をお待たせしてしまいました。

いつもの業務を一旦止め、スタッフ
総勢で緊急対応に！
男性陣は3人一組の応急処置部隊
を結成しまずは現地調査、屋根点検
から始め、応急処置としてブルーシー
トを掛けて回ります。
現場の屋根の上から町が見えます…
あちこちの家の屋根が壊れていて。



また雨の度に屋根に登れず、作業が
ストップしたこともありました。
ご迷惑をおかけし本当に申し訳あり
ませんでした。

ようやく目途が立ち始め、順を追っ
て改修工事、本工事をさせていただ
いてる状況です。

…思ったより被害は大きい…
屋根瓦が落ちたり、ズレたり、壁にヒ
ビが入ったり、土間が割れていたり。
一件一件、被害状況が違います。
一刻も早くなのか、大丈夫なのか？
震度3の余震も続く中、屋根に登っ
て崩れないか？
そして職人さん足りるんだらうか？



応急処置部隊は一軒また一軒、
ブルーシートをかけてまわった。



大切なお客さまへ
「不安なまま暮らすより、まずは専門家に確認してもらってください」